

2022年10月7日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

仕様書や設計図など機密情報の情報漏洩対策・監視サービス 「WebMonitor byGMO」 海外の文書共有サイトへの機密情報流出有無の 無償調査キャンペーンを開始

GMO インターネットグループでサイバーセキュリティ関連事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 旧称：イエラエセキュリティ 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、本日 2022 年 10 月 7 日（金）より、機密情報の情報漏洩対策・監視サービス「WebMonitor byGMO」における、海外の文書共有サイトへの機密情報流出有無の無償調査キャンペーンを開始します。



【キャンペーンの背景】

コロナ禍によりリモートワークが増えることで、企業にとって重要な機密情報が海外の文書共有サイトへ流出し、その企業の許可なく不特定多数に公開され匿名で売買をされる事象が発生しています。最近では内部情報を表示したモニターの画面を撮影されたものや、紙の資料を撮影された画像も流出するなど、リスクが高まっています。

特に新製品に関する仕様書や設計図などの重要な技術情報については高額で取引され、サービスや製品の複製といった被害につながっています。また名前などの項目が無記入の資料は詐欺行為のアイテムとして利用される場合があるなど、企業としての信用問題にもつながります。これらの被害は影響が大きい一方で、流出の確認と削除には非常に多くのコストが発生するため、流出事実を把握しながら適切な対応策を打てていない企業も存在しています。

この度、文書共有サイトを中心としたリスクの高まりを受け、海外の文書共有サイトへの機密情報流出有無の無償調査キャンペーンの提供を開始いたします。

■ 海外の文書共有売買サイトで見つかる情報の具体例

民間企業	行政	学校
<ul style="list-style-type: none">変更届 (住所変更、振込先変更、担当者変更)製品マニュアル販売店マニュアル製品（品質）証明書技術資料 (禁複製、社外秘入り)議事録 (参加者名入り、手書きサイン入りなど)決算説明会資料設計図社内関係者限り、社外秘、confidentialの文字が入った社内説明資料情報管理体制のルール資料接客マニュアル、新人研修マニュアル	<ul style="list-style-type: none">発行依頼書役所案内 (対応部署、電話番号、広報紙、など)証明願、質疑書、死亡届工事申請書・設計書免許再交付申請書総合操作盤点検票耐震設計ガイドライン振込先変更届	<ul style="list-style-type: none">研究発表資料委員会議事録受入許可書大学名が右下に入った無地の履歴書無地の施設使用願研究実績表紹介状基盤サービスマール利用申請書学則資料

【WebMonitor byGMO とは】 (<https://www.webmonitor.jp/>)

「WebMonitor byGMO」は脅威となる海外の文書共有サイトを中心に、企業の内部情報、機密情報などが不特定多数に公開されていないかの調査、レポートを行うサービスです。自社開発したクローリングシステムにより流出情報を調査するだけでなく、アップロードされたファイルの削除要請の支援まで行います。自社回線でサイトを確認するリスクや、海外サイトへの削除交渉の手間を削減し、情報流出によるリスクを軽減します。

■ 「WebMonitor byGMO」の強み

- ・情報漏洩調査 10年以上の実績
- ・国内在住の自社作業員による厳格な情報管理体制
- ・自社開発した独自システムにより安価で効率よく調査

GMO CYBER SECURITY  **IERAE**

WebMonitorによる漏洩監視



流出情報を調査し削除要請

【無償調査キャンペーン概要】

キャンペーン期間中、調査可能条件を満たしたお申込みに限り、「WebMonitor byGMO」のレッドウェブ調査簡易報告書（調査報告書）を先着順で 20 社まで無償でご提供いたします。

申込期間：2022 年 10 月 7 日（金）～11 月 30 日（水）

定員：先着 20 社（当社で調査可能と判定したお申込み）

申込方法：下記サービスサイトより無償調査キャンペーン希望の旨、お問い合わせください

URL：<https://www.webmonitor.jp/document-share/>

調査内容：レッドウェブ調査（当社指定の 3 つの文書共有売買サイト）の簡易調査（1 社、1 KW まで）

対象条件：下記に複数当てはまるなど流出リスクが高いと判断されるお客様

- ①上場企業
- ②海外に進出している、海外の競合が増えている
- ③流出リスクの高い機密情報がある（回路図、設計図、営業資料など）
- ④自社サイトへの海外アクセスが増えている
- ⑤退職者が増えている
- ⑥自社内で情報流出の監視、追跡をしている

※自社以外の調査についてはお断りさせていただきます。

対象条件、調査内容の詳細はサービスサイトよりお問い合わせください

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

(URL：<https://gmo-cybersecurity.com/>)

「誰もが犠牲にならない社会」をミッションに掲げ、国内最大規模のホワイトハッカーを組織するサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。Web アプリケーションやスマホアプリ、企業の基幹システムなどに対するサイバー攻撃に対する高度なセキュリティ対策を提供し、持続可能な事業継続をサポートしています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
コンプライアンスリサーチ部 山下
TEL：03-6276-5590
窓口：<https://www.webmonitor.jp/contact/>
- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部広報担当 新野
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
コンプライアンスリサーチ部 山下
TEL：03-6276-5590
窓口：<https://www.webmonitor.jp/contact/>

【GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社】(URL:<https://gmo-cybersecurity.com/>)

会 社 名	GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役CEO 牧田 誠
事 業 内 容	■Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ペネトレーションテスト ■不正利用(チート)診断 ■IoT 脆弱性診断 ■自動車脆弱性診断 ■フォレンジック調査 ■CSIRT 支援 ■クラウドセキュリティ診断 ■クラウドセキュリティ・アドバイザー
資 本 金	2 億 5171 万円

【GMOインターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMOインターネットグループ株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円